

認知症の方の一人歩き(徘徊)を協働で支援します！

認知症の方を取り巻く現状と課題

市内の要介護認定者のうち、認知症の症状がある方は約5割となっています。

「一人暮らし」や「高齢者世帯」の増加、「遠距離介護」の増加、「介護を代わってもらう人がいない」など介護状況は厳しく、また、「徘徊」「閉じこもり」「地域との交流の機会の減少」「偏見による本人・家族の孤立」といった地域の課題が多く見られます。特に、一人歩き(徘徊)による保護件数は年々増加しており、「認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続ける事が困難となる」、「命にかかわる」問題として深刻な状況となっています。

一人歩き(徘徊)に関する取り組み

市では、認知症の方と家族が住



み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるまちづくりを目指しています。

「一人歩き(徘徊)に関する支援」を切り口に認知症の方への支援全般について話し合う場として、平成24年度から「認知症の方の一人歩きに関するネットワーク会議・ワーキンググループ会議」を開催しています。

認知症の方の一人歩き(徘徊)が、地域・医療・介護・福祉・行政が協働しながら取り組んでいく問題である事をみんなが認識し、今後の具体的な支援を考えて行く場となっています。

「認知症の方の一人歩きに関するネットワーク会議・ワーキンググループ会議」の様子



参加者の言葉

- ・みんなで協力して探すことができる体制づくりが必要
・認知症の方が地域で暮らしていくために「ご近所の方」と「認知症の正しい理解」が必要
・配達業者など地域の事業所の協力が得られるとよい
・子どもの頃から認知症について知っておくことが大切

これまでの取り組み

- ①認知症の方の行方がわからなくなった時の協力体制の検討
②地域の事業所・企業へのアンケート実施
③認知症キヤッチフレーズ作成
④認知症支援に関する取り組みについて各所属からの提案 など
今年度は、話し合った内容をもとに地域や関係機関、行政が協働しながら取り組みを実践していきます。

人間ドック・生活習慣病予防健診に加え詳しい検査が受けられます



腫瘍マーカー検査

がん細胞が発生すると、血液や尿に増えてくる物質があります。これを腫瘍マーカーといい、がんの発見や治療効果を調べるのに役立ちます。
※良性疾患や体質等でも陽性になることがあるので、現状では診断の補助として利用されています。

- AFP.....2,700円 (主に肝臓がん)
○CA125.....3,200円 (卵巣がん、子宮がん)
○PSA.....3,000円 (前立腺がん)
○CEA・CA19-9(2項目) ...4,000円 (大腸がん、すい臓がん、胆管がんなど)
※3項目申し込みの場合...4,600円
4項目申し込みの場合...6,000円

甲状腺セット(TSH・サイロイドテスト・マイクロゾームテスト)

血液中の甲状腺ホルモン、抗体を測定し甲状腺のはたらきや異常を調べる検査です。(3,500円)

骨密度測定(骨粗しょう症検査)

カルシウム不足で骨の量が減って、骨がもろくなり骨折しやすくなる病気「骨粗しょう症」を調べる検査です。特に更年期後、閉経後の女性は注意が必要です。(予約制/20歳~70歳/3,800円)

その他オプション検査

- BNP検査.....3,000円
○ヘリコバクターピロリ抗体検査.....2,400円
○肝炎ウイルス検査(HBs抗原・HCV抗体) ...3,800円
○乳がん検診.....6,000円
○子宮頸がん検診.....3,600円

★人間ドック・生活習慣病予防健診は助成対象となる場合もあります。詳しくは各自自治体、または保険組合等にお問い合わせください。

☎高島市民病院 健診センター ☎(36) 8082

家族介護教室

高齢者を介護されている家族の方、過去に介護経験のある方、介護に関心のある方。皆さんで情報交換をしたり、介護の知識や技術について学んでみませんか。

Table with 2 columns: 日時 (Date/Time) and 場所 (Venue). Includes details for June 25th at the Iwajima Health Center.

申し込み・お問い合わせ
6月23日(月)までに、各地域包括支援センターまでお申し込みください。お弁当(1,000円程度)を注文される場合は、併せてお申し込みください。
午前または午後への参加も可能です。

認知症 みんなの笑顔で 支えよう！ みんなで理解 認知症 3

一人歩きの方への対応は？

認知症の症状である一人歩き(徘徊)は、時間が経てば経つほど、自宅から遠く離れてしまい、発見することが困難になったり、その間に事故等に巻き込まれる危険性が高くなったりします。
地域内で、「何か不安そうにしている」など、「あれ？」と思われる方などを見かけたら、次にあげるポイントを参考に、「どこらまでお出かけですか？」と声をかけてください。話があいまいで、名前がはっきりわからない場合は、認知症の方の可能性があります。対応に困ることなどあれば、健康いきいき応援センターにご連絡ください。

具体的な対応 7つのポイント

- ①まずは見守る
近づきすぎたり、ジロジロ見たりすることは禁物です！
②余裕をもって対応する
こちらの焦りは、相手にも伝わりません。
③声をかけるときは一人で複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいです。
④後ろから声をかけない
一定の距離で、相手の視野に入らない！
⑤相手に視線を合わせてやさしく口調で
⑥穏やかに、はっきりした言葉で
⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
認知症の方は急かされるのが苦手です。

北部健康いきいき応援センター ☎(22) 5101...今津保健センター
南部健康いきいき応援センター ☎(32) 4413...安曇川保健センター